



博物館だより

Vol.205 2012.5

ミニミニマインズ

◆平成24年度 鉱業博物館市民開放講座開催◆

〈第1回〉 「秋田鉱専創立の原形 フライベルク工科大学を訪ねて」 講師：川上 洵 鉱業博物館研究員

平成24年5月11日（金）、当館3階講堂にて第1回鉱業博物館市民開放講座を開催しました。第1回目の講師は鉱業博物館研究員である川上洵先生でした。川上先生は平成16年度から17年度まで工学資源学部の学部長に就任し、ドイツのフライベルク工科大学との学部間交流を推進されました。

講演では多くの写真やご自身の体験談を交えながら、フライベルク訪問の様子をお話してくださいました。聴講者の皆さんは、メモを取ったり写真を撮ったりしながら熱心に耳を傾けていました。



↑講師の川上先生



〈フライベルク工科大学〉

フライベルク工科大学の前身に当たるフライベルク鉱山学校は1765年に設立され、それ以来20世紀初頭まで世界最高の鉱山研究・教育機関でした。秋田鉱専はフライベルク鉱山大学を模範にしたとされています。



〈第2回〉 「真澄と鉱山のデジタル記録について」 講師：成田 裕一 秋田大学名誉教授

平成24年5月16日（水）に第2回市民開放講座を開催しました。講師の秋田大学名誉教授である成田裕一先生は、「菅江真澄全集」等の文献の中から鉱山に関した文、脚注、図絵、該当地名の情報を記録したデータベースを作成されました。講演中は聴講者のみなさんが興味ある言葉や図絵を実際に検索しながら、このデータベースの利用方法を解説してくださいました。

また、鉱業博物館のホームページで公開している標本データは、先生が制作と改良を行っているデータベースソフトを使用しています。鉱物や化石に関心がある方はぜひ鉱業博物館ホームページの標本データを検索してみてください。



↑講師の成田先生

平成24年度の無料開放日

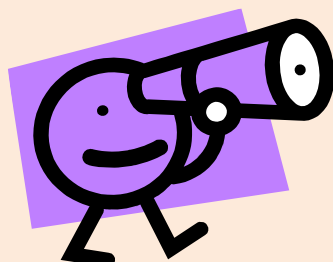
行事にちなんで無料開放日を設けました。

開放日は入館無料で館内を観て回ることができますので是非お越しください。

7月28日(土) 工学資源学研究科オープンキャンパス

10月20日(土) ~21日(日) 工学資源学研究科オープンキャンパス&秋大祭

11月 3日(土) 教育文化週間



☆ ジュニアサイエンス スクール開催 ☆

今年度のジュニアサイエンススクールでは
小学校6年生を対象に、鉱物の採集と標本の
整理を行う予定です。博物館実習生も企画・
運営に携わりますのでぜひご参加ください！
詳細は後日お知らせします。

日程 **8月2日(木)**
3日(金)



◆花いっぱい計画始動◆

平成24年5月17日に「鉱業博物館
花いっぱい計画」の一環として、当館に
続く坂道に花プランターを設置しまし
た。サイエンスボランティアの皆さんにも協力して
いただいて赤・白・ピンク3色のベゴニアとオレンジの
マリーゴールドを120個のプランターに植え込んで
坂道いっぱいにならべました。

当館にお越しの際
は色とりどりの花も
合わせてご覧ください。
皆様のご来館を
お待ちしております。



↑博物館実習生も参加しました

鉱業博物館展示品紹介

標本：アメジストフラワー



写真：アメジストフラワー

1階“鉱物”
のコーナーに
展示している
アメジストフ
ラワー<ブラジ
ル産>は、アメ
ジスト(紫結
晶)の結晶が長
い年月を経て、
見事な花を咲
かせたような
形をしています。うっすらと紫色に染まった幾重
にも重なる花びらは、本物のお花のような繊細さ
で、風が吹くと今にも散ってしまいそうです。清
楚でひっそりと咲く姿に目を奪われてしまい
ます。

(博物館実習生：高橋)

コーナー：「奇石をたのしむ」

2階の“地球地層の諸現象”のコーナーには、
ちょっと変わった岩石が展示されています。叩く
と金属のような高く澄んだ音がする「サヌカイト」、
振ってみるとかさかさと音が聞こえる「鳴
石」、しなやかに曲がる「こんにやく石」。これら
は実際に手で触れて、その音や曲がり具合を楽し
むことができます。「サヌカイト」の石琴はちゃん
と音階になるようにできていて、叩いてみると鉄
琴に似たきれいな音がします。そのほかにも普通
とは一味違う岩石が展示されていますので、皆さ
さんもこれら
の不思議な
岩石たちの
魅力を味わ
ってみてく
ださい。

(博物館実習生：安藤)

写真：サヌカイトの石琴



◆博物館実習がはじまりました◆

5月から博物館実習がスター
トしました。私たち博物館実習
生は学芸員資格の取得を目指
し、当館での実習に励んでいま
す。実習では、イベントの企画・
運営、解説書の制作、鉱物等の
標本管理と展示に関わる作業な
ど博物館の様々な業務に取り組
みます。館内の案内実習も行い
ます。



岩石の薄片の作成→

編・集・後・記

～ミニミニマインズを編集して～

ミニミニマインズ5月号の作成は、博物館実習
生が担当しました。大学では、記事の作成・編集
などに取り組んだことがなかったので、貴重な体
験をすることができました。

今後は解説書の作成も担当する予定です。今回
の反省を踏まえて、よりよいものが作れるよう
に班のみんなで協力して、一生懸命頑張ってい
きたいと思います。

作成：1班 大場・高橋・山下・安藤・小埜・佐藤・相田・高橋